

# みやけの風

## 第 77 号

平成14年(2002年)5月11日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpp.org

「ふれあい集会も終わったなー」「また、いつもの毎日が始まるんだな」「でも、三宅島島民連絡会も正式に発足したし、これからは何かを待つばかりでなしに、しんどいけれど自分たちのことをみんなで力あわせて、やっていけることはやっていこうよ」「うーん。そうだよな」

### みんなの声

#### 母の日の雄山登山の思い出

全島避難から2回目の母の日を迎え、毎年恒例だった親子での雄山登山を、東京に来て母の日が来るたびに思い出し、あの新緑の雄山が噴火でなくなってしまい悲しいです。母の日の雄山登山では、各方面の方々にご寄付をいただき、泣いたり笑ったりの楽しいひと時、母の会の一大行事が大変懐かしいです。

三宅支庁の武田課長さんから、こんなお

言葉をいただきました。

「4月に転勤してきて初めてわが子と参加し、いい時に登れてよかった。雄大な雄山がなくなったことがとても残念です」

今まで三宅島警察の署員をはじめ、たくさんの方々のご厚情にあづかり、本当にありがとうございました。いつ帰れるのかを思いながら、ここにあの美しかった雄山をしのびました。

(大田区 東電家族寮 川口 千代子)

### 「三宅島島民電話帳」掲載希望確認の返信のお願い

ただいま、三宅島災害・東京ボランティア支援センターでは、三宅島島民電話帳の改訂にあたり、5月1日現在で三宅村に登録されている全島民の方へ、島民電話帳への掲載希望確認を行っております。封書にてお送りいたしました掲載内容記入票に、必要事項をご記入の上 **忘れずにご返送** ください。

また、島で復興作業に携わっている方々で留守宅にどなたもおられない場合は、現地でも記入票を各事業所ごとにお預けしておりますので、現地でも記入票を受け取ることができます。FAXもしくは返信用封筒でご返送ください。

今回発行する第3版は、新たにお寄せいただいた情報に基づき、あらためて編集をいたしますので、**第2版に掲載されていた方も、必ず記入票をお送りください。**

締め切りは5月20日になっておりますが、できるだけ早く皆様のもとに新しい情報を盛り込んだ電話帳をお届けしたいと存じますので、**できるだけ早くお送りいただきますよう、皆さまで声かけ合ってご協力いただきますよう**よろしくお願い申し上げます。(三宅島災害・東京ボランティア支援センター)

## **第4回三宅島島民ふれあい集会のお疲れ様会**

5月9日(木)午後7時より会場となった港区芝浦小学校むかひの連合東京会議室にて、ボランティアとして集会を支えて下さった方々をお迎えして、ふれあい集会のお疲れ様会を開催しました。「いつも何かできればと思っている私たちにとって、島民の方々と直接交流できる良い機会です。次回もぜひ参加したいと思います」と

主催団体のひとつ「三宅島島民連絡会」会長の佐藤就之さんより開会のご挨拶をいただいた後、実行委員会事務局として全体のご報告をさせていただきました。

島民によるブースが16ブース(食べ物テント4ブース含む)、三宅村および各機関によるブースが8ブース、関係者・支援団体ブースが13ブース(行政、企業、NPO、各種団体を含む)が出展され、朝からの雨にもかかわらず1500名以上(一般ボランティア登録数401名/島民ボランティア登録数129名)の来場者があったことなどのご報告のあと、ふれあい集会のもっとも大切なテーマ「ふれあい・交流」のほかに実行委員会事務局として今回の集会において課題としたことについて、その成果をご報告しました。

### **1. 日ごろ外出の機会の少ない高齢者や要介護者などや、遠隔地に避難している方にも参加していただけるような環境を整える。**

⇒前回同様15台のはとバスのほか、別途移送サービスを用意し、遠隔地である静岡県下田市より1グループ5名が参加できた。個別の移送サービスや車椅子を会場に用意することを前回に引き続き行なった結果、ハンディキャブを利用し32名が参加した。

### **2. 島民自身による集会の企画運営を進める。また、将来の三宅を担う子ども達や若い人の参加を促す工夫をする。**

⇒今回は島民自ら「島民作品展」を企画し、“およばれ”する集会から“参加する”集会へと変わりつつある姿がうかがえた。また、ステージの出し物も午後の体育館プログラムでの講演を除きすべて島民自身によるものであった。今回初出展の子供向けブースも数多く、たくさんの児童生徒の参加があった。

### **3. 「三宅島島民連絡会」の発足を広く島民で共有する場を用意する。**

⇒会長の佐藤就之氏より挨拶があったあと、事務局長の有馬正美氏よりこれまでに行われてきた避難先毎の島民会活動や「島民連絡会会議」の内容等を踏まえ、組織としての島民連絡会の設立経緯や趣旨、活動期限を三宅島島民の帰島の日までとし、全島民を会員として、役員、運営委員会、事務局、協力委員等を置く体制で活動を始めることが説明され承認された。

### **4. 広く民間企業・各団体などへ呼びかけ、三宅島への関心を深めるとともに支援の気持ちを島民に直接届ける。**

⇒朝からの雨にもかかわらず、前回の倍を越える400名以上のボランティアが集会を支えてくれた。今回新たに参加、引き続き参加する団体とも多数が参加した。

### **5. これからの避難生活を考えるうえでの情報を、島民へ提供する。**

⇒「三宅島の火山活動、その現状と見通し」と題して、島民の帰島に密接な関係のある火山ガスの状況などを、東京都防災専門員である笹井洋一氏より、また、三宅村復興計画策定委員長の林春男氏より「三宅村の復興に伴う基本的な構想(案)」について聞くことができた。東京都青山副知事、三宅村長谷川村長の三宅に復興に対する意気込みを聞くことができた。